

The logo consists of a dark blue square with the white text "TRMA" inside. The background of the slide features a stylized world map in shades of blue and green.

TRMA

東京リスクマネジャー懇談会 2010年活動報告

2011年4月1日

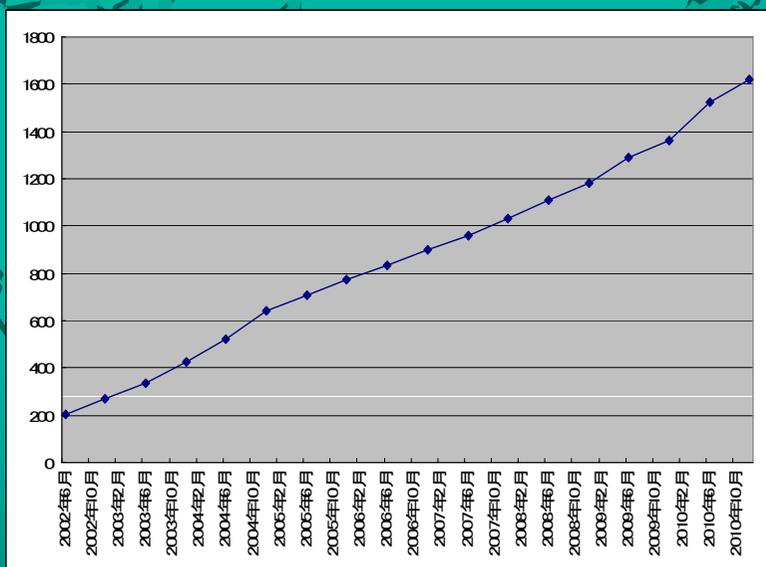
Tokyo Risk Managers
Association
(“TRMA”)

TRMA: 設立趣旨

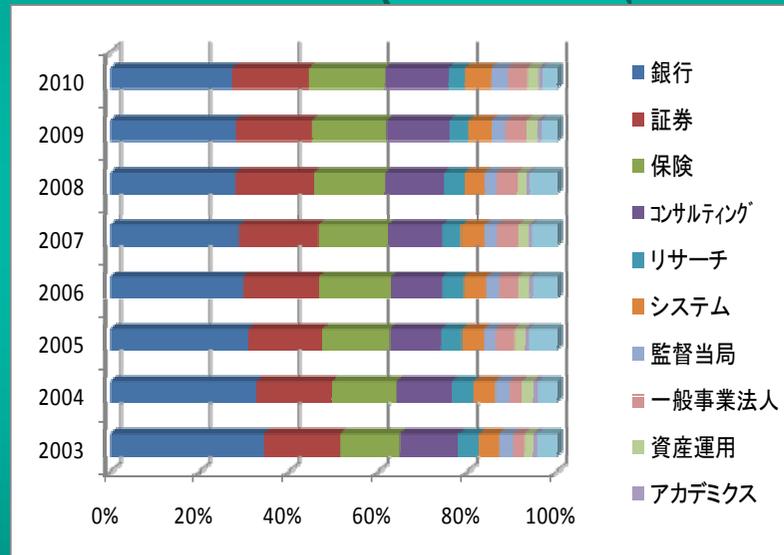
- 2002年4月に活動開始して今年で丸9年
 - 本邦における金融リスクマネジメント関係者のコミュニティを提供し、そこでの自由闊達な意見交換や情報交換を促すことで本邦における金融リスクマネジメントの水準向上に資することを目的
- 個人の資格による参加と個人ボランティアによる運営
- 法人形態ではないインフォーマルな組織
- 2011年は「10年目」としての活動を展開

メンバープロフィール

・メンバー登録状況



・会員所属組織の業種別構成



2010年末時点登録メンバーは1,628名。2010年は255名増加(過去最高水準)
 順調な伸びを示しているが幽霊会員もかなり存在しており実態は1,300名程度

2010年度(2010/1-2010/12)活動状況： TRMAリスクセミナー

開催日	テーマ	プレゼンター	会場	出席
2010/2/2	IFRSの概論とIFRSにおける金融商品の会計処理	山上真人氏・嶋方 亮氏 あらた監査法人	三井情報	112
2010/2/17	バーゼル銀行監督委員会による市中協議文書の概要について	白川 俊介氏 金融庁	エムプラス	141
2010/4/21	ストレスシナリオの活用と課題	内田 善彦氏 日本銀行	三井情報	163
2010/6/9	CROフォーラムとリスク管理	三木 隆二郎氏 かんぼ生命	SAS	60
2010/7/28	ギリシャショックと人民元切り上げそして、新興国通貨の動き	宿輪 純一氏 三菱東京UFJ銀行	三井情報	43
2010/8/25	CVAを利用した新しいリスク管理	モルガンスタンレーMUFG証券 富安 弘毅氏	三井情報	113
2010/10/27	不動産リスクマネジメント	プライスウォーターハウスクーパーズ 原 誠一氏・若林俊一郎氏	SAS	65
2010/11/18	清算機関とリスク管理	日本銀行 宮内 篤氏	エムプラス	75

2010年活動状況:その他

- 金融危機後のリスクマネジメントに係る会員アンケート
 - － 小冊子発刊
 - － 週刊金融財政事情2010年3月15日号に寄稿
 - ・「リスクマネジメントの課題に関する実務家意識調査」
- イベント等:クリスマスドリンクパーティの開催
- 運営体制
 - － ステアリングコミッティ:計6回開催。平均出席10名
 - － アドバイザリーコミッティ:2010/12/22

項目	今期実績	前期比
2009年12月22日時点残高<前期繰越>	1,072,498	—
収入の部	—	—
セミナーカンパ金	748,243	247,152
その他収入(※1)	1,524	▲27,718
収入の部合計	749,767	219,434
支出の部	—	—
セミナーコピー代	126,590	34,085
Web運用費用	33,600	▲11,529
セミナー会場費用	365,631	288,456
その他支出(※2)	46,230	▲26,093
支出の部合計	572,051	284,919
現在(2010年12月21日)の残高	1,250,214	177,716

※1 : 預金利息、セミナー後の懇親会のお釣り、
ドリンクパーティーの余剰金等

※2 : アンケート結果報告資料作成代、水代等

- 2010/12末時点では約125万円の資金が存在。2011年に入り外部会場使用が続いたため、3末時点残高は、99万5千円
- 収入はセミナー時カンパを中心にドリンクパーティ余剰金、セミナー後の打ち上げの端数お釣り等。
- 2010年のセミナーカンパ金は、参加者100名超の大型セミナーが4回あったことから大幅増加。
- 支出の中心はセミナー資料代。分割印刷、両面コピー等で出来るだけ支出を抑制。外部会場は1回につき20万円程度のコストとなるため、企業支援による会場を優先的に使用。
- 2010年は外部会場(丸の内エムプラス)使用が2回あったことから、会場費用が大幅増加
- その他支出:「金融危機後のリスクマネジメント」アンケート結果の製本費用を含む

TRMA: 2011年度の活動項目

- セミナー: TRMAにおける最大の資産はセミナーと考え、引続き活動の中心に
 - セミナーにつきTRMAウェブ経由での申込検討
- 相互交流重視の観点からの施策実施
 - TRMAウェブサイト会員専用ページ(www.trma.jp)の活用:
 - ・ セミナー資料・用語集等、リスクマネジメント 関連情報発信
 - TRMAツイッター開始検討
 - 2009年の金融危機会員アンケートのフォローアップアンケートの実施検討
- 出版活動も継続して検討
- アドバイザリーコミッティの助言も具体化検討
 - 「民間実務家からの意見発信・情報発信等の活動を」

TRMA: 運営における課題

- TRMAは会員が主導する集まりであり、会員側からの要望・情報発信も期待したい
 - 「セミナーでこの問題を取り上げてほしい」
 - 「セミナーでこの人の話が聞きたい」
 - 「こんなワーキンググループを行ないたいが有志を募れないか」等

ご意見大募集！コンタクトは【info@trma.jp】まで

- TRMA運営側は常に逼迫:会員による様々な参加・貢献を期待
 - 会員増加から、「ダイナミア化」のリスクも
- 会場の提供、紹介等

SCメンバーも募集中！やってみたい方【info@trma.jp】まで